

2月最終日は世界希少・難治性疾患の日

Rare Disease Day

アミカスは希少・難治性疾患の治療を目指し、最前線で立ち向かい続けます

WE BELIEVE in the Fight to Remain at the Forefront of Therapies for Rare and Orphan Diseases —Amicus Belief Statement より—

Rare Disease Day(世界希少・難治性疾患の日、以下「RDD」)は、より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質(QOL)の向上を目指して、スウェーデンで2008年から始まった活動です。

日本では2010年から2月に全国各地でイベントが開催され、今年で11回目を迎えます。令和初となるRDDのテーマは「レア(RARE)・いっしょに・わかちあう ~Towards Goals for Enhanced Outcomes~」。新元号を頭文字にしています。詳しくはRDD JAPAN2020公式Webサイト：<https://rddjapan.info/2020>をご覧ください。



希少疾患とは、患者数が極めて少ない**難病**の総称です。この疾患を患う患者さんは、患者数が少ないことや病気のメカニズムが複雑なことなどから以下の様な解決すべき問題を抱えています。

- 1) 診断までに時間がかかる
- 2) 治療法の開発がなかなか進まない
- 3) 疾患に関する情報が少ない
- 4) 周囲からの理解が得られない

アミカス・セラピューティクス株式会社は、希少疾病医薬品の開発を通じて、患者さんの生活を改善し、豊かにすることを使命としています。

RDD を通し、希少・難治性疾患の患者さんとその家族の方々が社会とつながり、また、より多くの皆様に希少・難治性疾患への理解を深めていただけることを願い、RDD2020 を応援いたします。

そして、希少・難治性疾患とともに生きる方々に最高の治療を提供することを目指します。

以上